

さくらやま便り

No.347号 2023年（令和5年）8月15日



この夏の出来事（報告）

巻頭文

施設長 村本英邦

記録的な猛暑が続く毎日ですが、みな様お元気にお過ごしですか。

猛暑に加え、8月に入ってから立って続けに台風が日本列島を襲い、特に台風6号は沖縄、九州地方に甚大な被害をもたらしました。7号も、正にこのタイミングで本州に接近しており、特に東海近畿地方の方々には安全の確保が求められています。自然の脅威を改めて実感すると同時に、人間社会の脆弱さも再認識させられているところです。

アドベンチスト福祉会が沖縄で展開している障害福祉の事業（ベーターの夢）は、主に発達に課題を持った子ども達への支援事業として、「放課後等デイサービス」を行っています。具体的には、①放課後等デイサービス。②児童デイサービス。③保育所等訪問事業。④相談支援事業所（対象は障害児、障害者）の4つです。

これ等の事業を2カ所で実施しているのですが、今回、そのうちの1カ所が大雨による床上浸水（約15cm）で完全に使えなくなりました。

ニュースでは、被災地の被害状況を映像で見ることもありましたが、実際に災害が身に起こりますととても動揺し悲しい気持ちになりました。遠く離れた場所にいる私でさえそうなのですから、現地の先生方や、そこを利用する子ども達の気持ちはどのようなものでしょうか。考えるだけで切なくなりそうです。

いまは気丈に振舞って、懸命に事業所の片付けをしています。水害後の光景と凄まじい臭いに体調を悪くした職員もあり、二次、三次と被害が出ることも懸念されます。



そのような中、心温まるエピソードが現地より報告されてきましたので、皆様にもご紹介致します。

【現地からの手紙】



台風一過の悲惨な様子に打ちひしがれていた時、「ベーターの夢」の前を通るご近所の皆様が、一様に声をかけて下さいました。皆様もそれぞれ被災されていると思うのですが、そのようなことは一切おっしゃらず、ただ「ベーターの夢」のことを気遣って声をかけて下さるのです。中には「うちは発電機があるからお米も炊けるのよ。みんなで食べなさい」とおにぎりの差し入れを下さる方もおられます。「頑張りなさいよ、負けたらいかんよ」と、それまでお会いしたこともない方からも声をかけて頂きました。危機に際して最もその人の人間性が表れると聞いたことがありますが、自らも被災者としての弱さを抱えながら、それでも他者に分け与えようとする「優しさ」はいったいどこから来るのでしょうか。

そのような時、「ベーターの夢」の卒業生が事業所に来て、「先生、これあげる」と、ビニール袋に入った千円札を手渡してくれました。「どうしたの？」と聞くと、「これでベーターを直して」と言うのです。涙が止まりませんでした。こんなに小さな子が、自分の大切なお小遣いを自分のために使うのではなく、ベーターの夢の再建に思いを馳せ、使ってほしいと寄付を申し出てくれたのです。

わたしたちは、これまでこの子たちに支援をする側として接してきました。何かを教えなくてはならない、療育の対象者として接してきたのです。しかし、人間にとって最も大切な「他者の痛みを自分の痛みとして感じる心」を、子ども達から教えられました。

私たちが一番苦しいとき、悲しいとき、慰めと癒しを必要としているときに、この子たちが私たちの一番近くに居てくれることを実感した瞬間でした。それは単に側に居るといふことだけではなく、心を寄せて私たちの思いに寄り添ってくれるという意味です。苦難を通して、わたし達が満たされていた時には忘れていた人として一番大切なことを教えられています。(後略)

ペーテルの夢 課長 福地 十七重

学生のころに、私の恩師でもあるひとりの宣教師から次のようなことを言われました。「失敗に終わった努力の下には、小さな知恵の種がたくさん埋まっています。それを掘り出して蒔いて見なさい。いつかあなたが想像もしないくらい豊かな森ができるから」。

私たちの毎日は、多くの出来事が起こりますが、今回の台風6号で被害を受けた沖繩事業所のことを報告するにあたり、現地の職員が経験した心温まるエピソードを、是非とも皆様と共有したくてご紹介しました。

いまは一番つらい時ではありませんが、この経験を通して、これまで以上に優しさを分かち合える事業所になってほしいと願っています。「希望は失望に終わることはない」と言う言葉を胸に刻んで、進んでいってほしいと切に願います。

今回のさくらやま便りは「ペーテルの夢」の現況報告になりましたが、暑い夏はまだまだ続きます。皆様がお健やかにこの夏をお過ごしになりますよう、心から願っております。

生活相談員から

主任 遠藤裕之

1. 「夕涼み会」について

特養と合同の納涼祭とシャロームデイは、残念ながら今年もコロナ禍の影響で見合わせるようになりました。代わりにケアハウスでは「夕涼み会」

を行います。短い時間ではありますが、ご参加頂けますよう、お願い致します。

当日のメニューは、①焼き鳥、②とうもろこし、③枝豆、④おにぎり、⑤アイスクリーム、⑥飲み物です。夕食を兼ねておりますのでお部屋にお持ち頂いても結構ですし、レストランや中庭で食べて頂いても構いません。久しぶりのイベントですので、ごゆつくり、そして思い思いに楽しい夏の夕暮れ時をお楽しみ下さい。

2. 8・9月の行事予定

8月20日(日)	夕涼み会(夕食)	17時
8月22日(火)	玄関自動ドア工事	13時
8月24日(木)	カラーネ音楽編	9時半
8月24日(木)	エレベーター点検	15時
9月3日(日)	ピザ	15時
9月25日(月)	ワックス清掃	9時
9月26日(火)	健康診断13時半	ケアハウス内
9月28日(木)	カラーネ音楽編	9時半

※変更の際はご容赦ください。

3. 懇談会ありがとうございました。

たくさんの方にご出席いただき、懇談会を行うことが出来ました。今回は旭警察のご協力もいただき、詐欺から身を守るお話も伺うことが出来ました。ご協力をいただき、ありがとうございます。

4. 暴風雨対策について

日本各地で暴風雨などの被害が出ています。ケアハウスの近隣にはハザードマップに掲載されている所もあります。ケアハウスでは、万々に備えて水や食料を備蓄しています。災害や停電の備えとして、持病の薬・懐中電灯・ラジオ・電池・携帯電話用バッテリーなどを個々にご準備をお願い致します。停電の場合、館内は非常用電源のみが作動します。エレベーターや居室のコンセントは使用できません。

5. お食事について

欠食や変更(ご飯↓お粥など)のお届けは、直前の食事時間までにお願ひします。その際は欠食届にご記入の上、職員にお渡し下さい。

食事の準備の時間はレストランへの入室はご遠慮ください。なお、下膳の際、弁当箱などは洗ってお戻しください。衛生管理のため、ご協力をお願い致します。

6. 入居のお知らせ

入居	塚原一雄 (つかはらかずお) 様	213号室
	塚原眞由美 (つかはらまゆみ) 様	213号室
退去	土田嘉代 (つちだかよ) 様	305号室

病氣療養のため。
ありがとうございます。

7. ごみについて

害虫が発生しやすい季節です。生ごみは水分を切つて、袋に入れて捨ててください。プラスチック・缶・ビン・ペットボトルは、ゆすいで汚れを落とし水分を切つてから捨ててください。プラスチックはできるだけビニール袋にまとめて捨ててください。みなさまのご協力をお願い致します。

8月の誕生者

4日	古川 澄子 様
14日	塚原 一雄 様
27日	橋本 泰子 様

お誕生日、おめでとうございます。お健やかな毎日をお祈り致します。